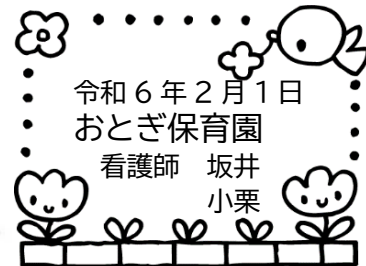




2月のほけんだより



令和6年2月1日
おとぎ保育園
看護師 坂井
小栗

北風が冷たくなり、気温がぐっと下がりました。乾燥した日が続く、感染症が流行しやすい時期です。寒いですが、長時間部屋を閉め切っているとウイルス等で部屋が充満してしまいますので、定期的に換気をするように心がけましょう。

おとぎ先月の感染症

- ・インフルエンザ 2名
- ・アデノウイルス 1名
- ・コロナウイルス感染症 1名
- ・溶連菌感染症 3名

先月は、年始から下痢・嘔吐の子が園内で十数名以上いました。

下痢・嘔吐が落ち着いても便から菌が1カ月くらい排出されているので感染対策は続けるようにしましょう。



嘔吐物の処理方法



〈必要なもの〉

- ・使い捨てエプロン1個
- ・使い捨てマスク1個
- ・使い捨て手袋2セット
- ・大きいビニール袋2枚、小さいビニール袋1枚
- ・消毒液 1本 → ハイター液 10ml と水 500ml (ペットボトルキャップ1杯が5ml)
- ・新聞紙や雑巾など 10枚くらい
- ※消毒液は処理する時に作りましょう。

〈手順①〉

- ・嘔吐物に新聞紙をかける。
→乾燥するとウイルスが拡散するためそれを防ぐ。
- ・窓をできる限り開けて換気する。
- ・エプロン、マスク、手袋を2重にしてつける。
- ・子どもの服や食器等がよごれた場合は、嘔吐物を拭き、ビニール袋などに入れ密閉しておく。



〈手順②〉

- ・外側から中央にいくように嘔吐物を拭きとり、ビニール袋に入れる。
- ・1枚目の手袋を外し、ビニール袋に入れ、消毒液を1/3入れて袋の口を閉じる。
- ・嘔吐があった場所より広く新聞紙をおき、上から消毒液をかけ、10分浸ける。



〈手順③〉

- ・外側から中央にいくように消毒液を拭きとり、ビニール袋に入れる。
- ・エプロン、マスク、手袋を外し、1つ目のビニール袋と一緒に袋に入れ、2重にして袋を閉じる。もし消毒液が残っていたら入れる。



〈手順④〉

- ・うがい、手洗いをする。手洗いは2回する。
- ・換気は1時間ほどする。
- ・嘔吐物で汚れたものは、消毒液に浸けられるものは消毒液(ハイター液5mlと水500ml)に10分浸け、できないものは85℃以上のお湯に1分浸けてから洗濯する。スチームアイロンや乾燥機も有効。

